

### 三鷹の森ジブリ美術館



#### 「市民デー」に13.6倍 16,000人の応募 招待状を発送しました

三鷹市および近隣市民のみなさんを三鷹の森ジブリ美術館にご招待する、9月29日(日)の「三鷹市民デー」・10月1日(月)の「三鷹市民おとび近隣市民デー」に、たくさんの応募をいただきました。2日間で合わせて1,200組(4人1組)の募集に対して、実に13.6倍にあたる16,000人の方から応募があり、9月1日の午前10時入場分は、なんと27.5倍を記録しました。

当選された方には、既に招待状を発送しています。なお、お電話などによる当否の確認はできません。

⇒企画経営室 ☎内線2114

### 発送作業は市内の障害者施設で

今回の「市民デー」の招待状発送作業は、市内の障害者施設のみなさんが行っています。9月9日には、ワープロのあて名シールと切手を、招待状のはがきに貼る作業が行われました(写真=ゆうゆう舎で)。「シールを伸ばして貼るのは難しい」と、きれいな仕上がりを求められますが、「ジブリ美術館では新作の映画を見てきて欲しい」と作業にも熱がはいります。

市内の障害者施設とジブリ美術館との作業を通じた交流は、美術館が開館した昨年からおこなわれています。

市内の障害者施設16団体でつくる「三鷹市障害者ワーククラブ」のはたらきかけがきっかけで、昨年は、美術館が発送する郵便物のあて名書きや、開館に伴う資料のセットなどの作業を2・3カ所の施設で請け負い、開館準備を手伝いました。

今回は、知的障害者通所授産施設「三鷹第一作業所ゆうゆう舎」(21人が利用)と、精神障害者共同作業所「むらぶ舎中本店」(28人が利用)のみなさんが作業しました。ゆうゆう舎所長の松崎さんは「人気の高いジブリ美術館の仕事に、みんな張り切ってやっています。これからも地域の障害者施設でいろいろなお手伝いができれば」と話しています。



「みなさん美術館を楽しんでね!」



この事業は、宇宙観測機器や脳外科手術用顕微鏡開発などの技術で世界的に有名な市内企業・三鷹光器(株) (大沢五丁目)と、柳河野製作所(千葉真市川市)、帝京大学、電気通信大学、柳まちづくりの三鷹が共同で、0.5μm以下0.1μmまでの大

と、軽量で片手の操作が可能かつ操作時の振動を吸収する(3秒で振動停止)顕微鏡懸架装置を開発し、河野製作所で、直径30センチ(φ0.03)の針と新素材の糸、安定した材料懸架を開発します。柳まちづくりの三鷹は事業の進行管理や事務手続きを通してこれらの開発を支援していきます。

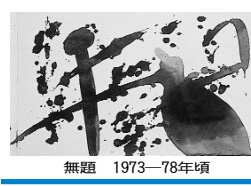
8月終わりのこの日、三鷹光器の事務所で顕微鏡の設計図面が検討されました。奥面は、勝重さん(写真・左)が手で描きあげたもの、頭に浮かんだものを自分の手でデザインし、行き詰まるとまた最初から描き直し、と何度も繰り返していき、ついに完成した。奥面は、勝重さん(写真・左)が手で描きあげたもの、頭に浮かんだものを自分の手でデザインし、行き詰まるとまた最初から描き直し、と何度も繰り返していき、ついに完成した。

「ミロ - マヨルカ島の光の中で」展 10月14日(月・祝)まで

スペインを代表する芸術家ジョアン・ミロ(1893~1983年)は1956年、地中海のマヨルカ島にアトリエを移し、90歳で亡くなるまで精力的に制作活動を続けました。このアトリエで描かれた油彩画、版画、素描、彫刻などを紹介し、その創作の原点に迫ります。



無題 1978年



無題 1973-78年頃

◆休館日 9月17日(水)・24日(火)・30日(月)・10月7日(日)  
◆開館時間 午前10時~午後8時(入館は7時30分まで)  
◆主催 三鷹市美術ギャラリー  
◆後援 スペイン大使館

◆観覧料 一般800円、学生(中・高・大)500円、65歳以上・小学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料 ※この記事を切り抜いて展覧会にお持ちください。2人まで、一般入場料800円を640円に割り引きします。

### 関連講演会「ミロとマヨルカ」

▷10月5日(日)午後2時から、三鷹市芸術文化センターで。講師は大妻女子大学講師の貫井一美さんと、東西文化センター館長のヘス・マロトさん。  
▶芸術文化振興財団 ☎47-5122へ申し込む。

### 三鷹市美術ギャラリー

JR三鷹駅前(南口)CORAL 5階 ☎79-0033 http://mitaka.jpn.org

### チケットインフォメーション

三鷹市芸術文化振興財団 (三鷹市芸術文化センター内) ☎47-5122 http://mitaka.jpn.org/

### チケットのお求め方法

- 電話予約 芸術文化センター ☎47-5122
- 窓口販売 芸術文化センター/三鷹市美術ギャラリー/三鷹市公会堂 ※発売日初日は電話での予約のみで窓口販売は行いません
- 販売時間 10:00~19:00
- 休館日 月曜日
- プレイガイド チケットぴあ ☎03-5237-9999

### 友の会MARCL(マークル)

財団主催の全公演のチケットが1割引(割引は2枚まで)で購入でき、優先予約日があるので、より良い席が入手可能です。また、発売日前に

情報誌が届きますので、公演情報を漏れなく知ることができます(年会費2,000円)。くわしくは芸術文化センター ☎47-5122へ。

### 芸術文化センター風のホール

★ザ・ハーブ・コンサート ルス・イ・ノルデ「灯火と北極星」 ~スペイン、イタリア、南アメリカ、アフリカのバロック・ダンス・ミュージック~ 10月19日(日)19:00開演 全席指席/ 会員 S=3,600 A=2,700 一般 S=4,000 A=3,000 学生=2,000



ち響て巧みに演奏するほか、ダンサーの華麗なタップやダンス、ユーラスなバントマイム、女性歌手の歌声が見事に絡みあった躍動的なステージです。フランス人護生者のスペインの踊りや歌の世界をお楽しみください。

### ★ウィークエンド・マチネ・シリーズII

「佐藤紀雄(8)&アンサンブル・ノマド」 ~フランス風味のクリスマスコンサート~ 12月22日(日)14:00開演 全席指席/ 会員=2,000 一般=2,500 学生=1,300 終演後の交流パーティー(40人様・要予約)=3,000 出演/佐藤紀雄(ギターとお話) 山根孝司(クラリネット)野口千代光(ヴァイオリン) 菊地知世(チェロ) 福垣聡(中川賢一(ピアノ) 曲目/メシアン:鳥のカタログ より、夜の終わりのための四重奏曲より、プーランク:クラリネット・ソナタ、ラヴェル:ラ・ヴァルス(2台ピアノ版)、武満徹:ピトゥーエーン・タイズ ほか 20世紀の作品を独自の切り口で分かりやすく紹介している「アンサンブル・ノマド」。音楽監督は井の頭在住のギタリスト、佐藤紀雄が務め

ています。今年没後10周年を迎えているオリヴィエ・メシヤンの作品には聖母マリアとイエスに限りなく慈しみの眼差しを向けられたものが多いのですが、今回はメシヤンを軸にフランス印象派と武満徹の作品をアンサンブル、「フランス風味のクリスマス」をお届けします。むすかしく考えず、佐藤さんの分かりやすいお話で、新しく楽しみを発見してみたいかがでしょうか。

### 芸術文化センター星のホール

●故林広志Ptd.「コネクト」 薄着知らずの女スペシャルwith 親族代表 10月4日(日)~6日(月) 4日(日)19:00、5日(月)14:00/19:00、6日(月)13:00/17:00 出演/村岡希実、廣川三恵(ナイン)



ン100℃)小松和重(サモ・アリナズ) 親族代表 ほか 全席指席/ 前売/会員=2,500 一般=2,800 当日/会員=2,700 一般=3,000 テレビ・舞台で幅広く活躍する気鋭のコント作家、故林広志の作るコント集「薄着知らずの女」。その練り上げられた質の高いコントは、何も考えずに大笑いできる見逃せないステージです。

### ★ほくもわたしも寄席で大笑い! その3

11月24日(日)14:00 全席指席/ 会員=1,800円 一般=2,000 小・中学生=1,000 出演/柳家喬太郎、柳家喬之助(落語) 林家三楽(紙切り) 大田その(お雑子) ほか 毎回好評の親子向けの寄席が今年も登場です。子ども向けにアレンジした落語のほか、一枚の紙が色々に変身する紙切りや、落語のお囃子についての説明や実演などで、昔ながらの「寄席」の楽しみをお伝えします。ぜひこの機会に寄席の世界に触れてみてください。 ※対象年齢は小学生以上です。未就学のお子さまのご入場はご遠慮ください。